

東京ハートフェルトフィルハーモニック管弦楽団(THPO) 感染拡大防止ガイドライン(練習実施において)

制定 2021年8月21日

修正 2021年9月9日

【0. このガイドラインについて】

東京ハートフェルトフィルハーモニック管弦楽団(THPO、当団)の練習活動において、団員間での新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐことを目的に検討したガイドラインです。このガイドラインに制定したことの他にも、感染予防となる事柄については臨機応変に導入していただくようお願いいたします。

【1. 普段の生活において】

- 当団の活動以外の、職場や家庭においても、手洗いの励行、手指消毒の随時実施、マスクの着用、屋外から室内に入る際のうがいの実施など、感染拡大防止となる事項を常に心がけるようお願いいたします。
- 特に、会食(ここでは、住居を共にする者以外の人物との、複数人での会話を含む飲食)については、できるかぎりの自粛をしていただくようお願いいたします。¹

【2. 練習に参加する前に】

- 合奏練習の前日までに、出欠予定表を記入してください。
 - 練習の参加人数が、会場の定員を下回っているか事前に確認するためです。万が一練習参加人数が会場の定員を上回った場合、練習会場の変更、もしくは練習に参加するパートの変更などを検討します。
- 自宅を出発する前に体温を計測し、37.5℃以上か、平熱より1℃以上高い、もしくは体調が優れないと感じた場合は、パートトップもしくは事務局に練習欠席の連絡を行ってください。
 - 職場やご家族の都合により欠席せざるを得なくなった場合は、その旨も併せてご連絡ください。
- 自宅を出発する際は、マスクを必ず着用し、口から鼻の上まで覆うように装着してください。マスク素材は不織布のものを推奨いたします。²

¹ 新型コロナウイルス感染症に罹った場合、その後の対応は保健所の指示に従っていただくこととなります。原則として2週間の自宅待機となります。その期間は、当然のことながら当団の活動に参加いただくことはできません。それが演奏会直前である場合、演奏会に出演する代替のメンバーを急遽探すこととなります。演奏会直前に不測の事態が起きる可能性を極力低下させるため、事務局として団外も含めた会食の自粛をお願いするものです。

² 微細な飛沫を多く透過してしまう布マスクやウレタンマスクについては推奨いたしません。同様の理由により、マスクの代替としてマウスシールドやフェイスシールドを使用してはなりません(<https://www.tut.ac.jp/docs/201015kisyakaiken.pdf>)。

【3. 練習会場において】

- 練習施設に到着したら、各自手洗い・うがいを実施してください。
- 奏者同士の椅子の間隔は最低1m、可能な限り1.5m以上を確保してください。
- 荷物はできるかぎり床におかず、机や椅子などの上に置いてください。
 - ただし、通常の使用において既に床に接触する荷物(キャリーケース、車輪付き台車など)は、椅子の座面に接触することがむしろ感染拡大の要因となりえるので、床に置いて構いません。
- 音出し以外の時間帯は必ずマスクを着用してください。
- 練習会場内での食事は禁止といたします。
- 休憩時間のうち、最低5分間は換気のための時間とし、その時間は音出しを禁止いたします。³
- 曲間の席移動は椅子ごと行うことを原則とします。
 - ただし椅子ごと移動することで却って感染拡大の要因となりうる事が考えられる場合は、この限りではありません。
- 練習が終了した場合は、速やかに施設から退去してください。建物ロビーや建物前面道路などでたむろすることはやめてください。
- 練習終了後の奏者同士での会食は自粛していただくようお願いいたします。

《弦楽器・打楽器・指揮者の方》

- 音出し中であってもマスクを着用してください。
- 譜面台は1人1台で使用し、複数人での共用はしないでください。

《管楽器の方》

- 奏者同士で対面しないような座席の配置としてください。
- 休憩時間以外であっても、パート内や奏者同士で会話をする場合には必ずマスクを着用してください。
- 楽章が全休であったり、長い休符で楽器を吹かない時間が長い場合にはマスクを着用してください。
- 楽器から排出される水を、床にこぼしたり、強く息を吹き込んで室内空気に飛散させるなどはしないでください。楽器から排出される水は、ペットシートなどに吸い込ませ、使用後は密封できる袋に入れるなど、各自で処理を行ってください。

【4. 罹患もしくは濃厚接触者の疑いが出た場合】

- 新型コロナウイルス感染症に罹患した場合、もしくは罹患者との濃厚接触の疑いがある団員は、パートトップと事務局へ必ず連絡してください。
 - 罹患の疑いが解消した、もしくは隔離期間が終了した場合にも、同様に連絡をしてください。
 - これらの情報は今後の楽団活動を円滑に行うために事務局内で共有し、政府や自治体などから要請があった場合には情報を提供する場合があります。

³ 換気を行う目安は1時間に1回以上、計測しているCO₂濃度が800ppmを超過した場合、もしくはインスペクターまたは指揮者が特に換気が必要と判断した場合とします。

【5. 当団で用意する衛生備品】

- CO₂濃度計測装置
- 消毒用アルコール
- キッチンペーパー
- ゴミ袋

以上